上尾市立今泉小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

生き生きと活動する心豊かな子どもの育成

○まなぶ子　○思いやりのある子　○たくましい子

学校課題研究主題

「主体的に
学びをつないでいく
児童の育成」

～アウトプットを重視した学びを通して～

学力・学習状況調査の結果

R8 全国学力・学習状況調査	R8 埼玉県学力・学習状況調査	R7 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、算数ともに平均正答率は全国平均を上回る結果である。国語は７.１%、算数は４.６%高い。 ・国語では、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題の正答率が低い。 ・算数では、二次元の表から、条件に合う数を読み取る問題の正答率が特に低い傾向にある。	・４年生は、学力レベルが県と比較して１段階以上高い水準である。 ・５年生の学力レベルの平均は、国語が３レベル、算数が２レベル伸びている。 ・６年生は国語、算数ともに２レベル伸びている。 ・非認知能力の自己効力感と学習方略のプランニング方略の数値が昨年と比較して低くなっている。	・４年生以上の学年に国語に伸びが見られ、標準スコアが上がった。算数では、第４学年は４ポイント、第６学年について３ポイント伸びが見られた。他の学年は目標と同等か下回った。 ・第２学年の国語、算数ともに知識技能、思考・判断・表現の２つの観点で全校平均正答率を下回った。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①問いや内容を的確にとらえ理解する読解力・語彙力 ②既習事項の積み重ね、学んだことを活かして問題解決する力 ③教科横断的な視点で捉え、活用していく力	④知識･技能を適切に組み合わせて、活用する思考力 ⑤情報を選択し、結論を出していくために必要な判断力 ⑥自分の考えを自分の言葉で伝えられる表現力	⑦学習や生活に主体的に取り組む力 ⑧自分の力や可能性を信じられる力 ⑨見通しをもって、計画を立てる力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・キーワードや５Ｗ１Ｈの視点から問題を捉えることができる導入の工夫 ・自ら進んで学習できる課題設定を行い、自己の学びを振り返り、新たな学びを発見できる導入と終末の工夫 ・既習事項を生かし、教科横断的な視点を大切した指導	・既習事項を活用しながら問題を解決する授業の展開 ・与えられた条件から、必要な情報を取り出し、根拠をもって自分の考えを組み立てられる授業の展開 ・話型を活用したりや伝え方を工夫したりするアウトプットを重視した時間の設定	・単元の計画や１時間ごとの授業の流れを可視化し、自信をもって授業に取り組むことができる授業づくり ・難しい問題にあたっても「自分ならできる」と思える授業環境と教師の言葉かけの充実 ・学習の進捗状況を自分で振り返る機会を設ける授業

本校の特色ある取組	家庭教育との連携
・一部教科担任制による学習の質の向上 ・防災教育の充実 ・道徳の授業における保護者公開 ・クラスルームイングリッシュの取組による外国語に触れる機会の充実 ・生活科、総合的な学習の時間におけるＳＤＧｓの視点を取り入れた授業の推進	・家庭学習の習慣化と見直しを図り、個別最適な学びに繋げる家庭学習 ・放課後の過ごし方の啓発

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①問いや内容を的確にとらえ理解する読解力・語彙力 ②既習事項積み重ね、学んだことを活かして問題解決する力 ③教科横断的な視点で捉え、活用していく力	④知識･技能を適切に組み合わせて、活用する思考力 ⑤情報を選択し、結論を出していくために必要な判断力 ⑥自分の考えを自分の言葉で伝えられる表現力	⑦学習や生活に主体的に取り組む力 ⑧自分の力や可能性を信じられる力 ⑨見通しをもって、計画を立てる力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①	毎日の音読と漢字練習、読書パスポートを利用した読書等をとおして、語彙を豊かにする取組	
算数	②	半具体物を活用し、数量感覚を養うと共に、計算カードと計算ドリルやプリントを活用した家庭学習をとおして、基礎・基本の定着を図ることができる取組	
生活	③、⑤、⑥、⑦	体験的活動をとおして、自分の考えをもち、友達に伝えたいことを見付ける力をつける取組	
音楽	③、⑦	共通事項の学習をとおして、楽しく歌ったり演奏したりできる取組	
図画工作	④、⑦、⑧	色々な材料や方法、形や色で好きな物好きな色でやってみたいことを見つけ、最後まで粘り強く取り組むことができる取組	
体育	②、⑦	友達と一緒にカー杯遊んで、基本的な動きを身に付け、楽しく活動できる取組	
英語活動	①、⑦、⑧	友達と一緒に英語を活用し活動をとおして、簡単な英語の語彙や表現を身に付けられる取組 友達と一緒に英語を活用して活動をとおして、言葉が伝わる楽しさを味わえる取組	
特別の教科　道徳	①、⑥、⑧	自分自身の問題として受け止めることができる取組 本時のねらいを踏まえ、適切な発問や指導方法等を用意する取組	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①問いや内容を的確にとらえ理解する読解力・語彙力 ②既習事項積み重ね、学んだことを活かして問題解決する力 ③教科横断的な視点で捉え、活用していく力	④知識･技能を適切に組み合わせて、活用する思考力 ⑤情報を選択し、結論を出していくために必要な判断力 ⑥自分の考えを自分の言葉で伝えられる表現力	⑦学習や生活に主体的に取り組む力 ⑧自分の力や可能性を信じられる力 ⑨見通しをもって、計画を立てる力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑨	単元の見通しと単元のゴール設定を行い、学びの流れを児童が理解できる取組 言葉の宝箱を利用しながら指導を行う取組	
社会	①、⑤、⑨	学習課題を立て、解決の見通しをもたせるとともに、様々な角度から資料を活用する取組	
算数	②、④、⑥	授業の導入時に、既習事項を復習したり、既習事項が振り返られる掲示物を掲示したりする取組	
理科	②、③、⑤	既習の知識や他教科で学んだ表現、データを活かし、実験結果をもとに、問題に対する答えを考察させるようにする取組	
音楽	③、⑦	共通事項の学習をとおして、音楽用語を身に付け、演奏技能に生かすことができるようにする取組 最後まであきらめずに演奏できるようにする取組	
図画工作	⑧	作品にさらに工夫を加えることで、粘り強く取り組むことができるようにする取組	
体育	⑥、⑦	撮影した動画や、見本資料を参考にしながら、児童同士でアドバイスをしたり、教え合ったりして、お互いに学び合う取組	
外国語活動	①、②、⑥	教師の言葉を聴き、友達とのやり取りをとおして、英語の語彙や表現を身に付けられるようにする取組 教師の言葉を聴き、友達とのやり取りをとおして、進んでコミュニケーションを取る取組	
特別の教科　道徳	⑤、⑥	３、４人のグループで、自分の意見を話し合う活動を取り入れる取組	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

２　学力向上を図る取組

（１）各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①問いや内容を的確にとらえ理解する読解力・語彙力 ②既習事項積み重ね、学んだことを活かして問題解決する力 ③教科横断的な視点で捉え、活用していく力	④知識･技能を適切に組み合わせて、活用する思考力 ⑤情報を選択し、結論を出していくために必要な判断力 ⑥自分の考えを自分の言葉で伝えられる表現力	⑦学習や生活に主体的に取り組む力 ⑧自分の力や可能性を信じられる力 ⑨見通しをもって、計画を立てる力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑨	単元の見通しをもてる導入と単元のゴールの設定を行い、学びの道筋を児童が理解できるようにする取組	
社会	②、④	グラフや表等の資料を基に事実を理解して、学習課題に取り組めるように資料の提示方法を工夫する取組	
算数	②、④、⑧	既習学習を活かしながら個別進度学習や習熟度別学習を行い、一人一人の学力に応じた指導を行う取組	
理科	③、④、⑤	ＩＣＴを活用して、実験を記録し、予想と結果がどのようになったか客観的に理解できるようにし、既習事項を生かした自分の考えを書けるようにする取組	
音楽	②、⑧	既習事項をもとに、楽譜を読む力を身に付け、自分たちの演奏に生かすことができるようにする取組 みんなで演奏するために粘り強く努力できるようにする取組	
図画工作	⑦、⑨	グループで一人一人の工夫を見合ったり、指摘し合ったりして最後まで活動できるようにする取組	
家庭	③、④	既習内容とのつながりを明らかにしてソーイングや調理実習の見通しをもって活動にする取組	
体育	②、③、⑥	運動経験や既習学習を活かした授業づくりを行い、自己の目標や到達度に応じた学習を展開する取組	
外国語科	①、⑥、⑧	単元のゴールを、ＡＬＴや海外の小学生とのやり取りにすることで活動の意味をもてるようにする取組	
特別の教科　道徳	⑤、⑦	一人一人が善悪の判断を正しくできるように、映像資料や実際の場面を想起させる取組	

Ａ･･･取組の効果が十分に見られた　Ｂ･･･今後も課題として取り組む　Ｃ･･･取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
一部教科担任制	・２年生は英語活動、３年生は音楽、外国語活動、４年生は音楽、図工、外国語活動、５・６年生は社会、理科、音楽、図工、家庭科、体育、外国語において、一部教科担任制を実施
防災教育	・避難訓練の充実 ・外部講師を招いての授業研究会
道徳科	・道徳の授業における保護者公開の実施
英語活動・外国語活動・外国語科	・クラスルームイングリッシュの取組による外国語に触れる機会の充実
生活科、総合的な学習の時間	・生活科、総合的な学習の時間におけるＳＤＧｓの視点を取り入れた授業の推進
その他	・学校課題研究における授業研究会の実施 ・校内音楽会の実施 ・大谷中学校区一貫教育の推進 ・地域学校保健委員会推進
家庭教育との連携	
家庭への啓発	・家庭学習の習慣化と見直しを図り、個別最適な学びに繋げる家庭学習 ・放課後の過ごし方の啓発